



(こども版) としょかんだより No.275

2007年

2月号

# わくわく本だな

富山市立図書館

## 今月のおすすめ



= 1・2年  
= 3・4年  
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

### 「バイバイおやゆびゆきだるま」

かさい まり / さく 岩崎書店



おやゆびくらのゆきだるまは、とけずにいつまでもこのままでいたいとおもっていました。するとねこがやってきて「いいところがあるよ」とおしえてくれました。そこは大きなれいとうこ！中にはこおったさかなたちがならんでいました。

### 「アブさんとゴンザレス」

斉藤 洋 / 作 佼成出版社



ロープウェイ乗り場に「あぶないからはいってはいけません」の看板かんばんがありました。声に出して読んでいると、突然あたりが霧きりにつつまれ、そこに、黄色と黒のしまもようのターバンをまいた“アブさん”が現あらわれました。ぼくはアブさんといっしょに、不思議なワゴン車ふしぎに乗って旅たびに出かけました。

### 「山猫軒の怪事件 猫探偵森下サバオの事件ファイル」

白阪 実世子 / 作 小峰書店



森下家の猫サバオは、サスペンスが大好き。夏休みに、ペットも泊とまることのできる“山猫軒”というペンションに連れていかれました。ところが着いたとたんに事件発生じけんはっせい。他の宿泊客しゅくはくきやくが連れてきた犬や猫が、次々にいなくなってしまうのです。サバオは、さっそく情報じょうほうを集めます。

# あたらしくはいった本

えほん



「子リスのアール」 ドン・フリーマン / 作 B L 出版

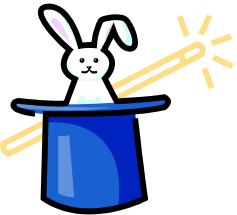


お母さんに自分でどんぐりを見つけるように言われたアールは、赤いスカーフをまいて森へでかけました。ひとばん中さがして、ようやくどんぐりの木を見つけます。その時、木の下にいた大きな雄ウシがアールのスカーフを見て、とっしんしてきました。

ものがたり

「うちゅうにんじゃとんじゃ丸

てじなみやぶーるの術でまーるのまき」 山本 省三 / 作 ポプラ社



てじながとくいなじょうじくんは、クラスの人気もの。ヒカルくんは、大好きなあずさちゃんまでじょうじくんにむちゅうなので、おもしろくありません。それを知ったとんじゃ丸は“あいての術をみやぶーるの術”で、ヒカルくんに、てじなのたねあかしをしてくれました。

## わたしはだれでしょう？

おはなしの主人公あてクイズ

ぼくは、記者をしていて、いつも白い犬といっしょに世界中をとびまわっているんだ。

アメリカ、アフリカ、中国、月世界にも冒険の旅にかけたよ。前髪がくるんとはねているのがとくちょう。

ぼくの名前もうわかったかな？

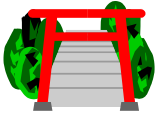


(こたえは、さいごのページにのってます)

## ものがたり

### 「 てんぷらばあちゃん 」

山口 節子 / 作 岩崎書店



さとのひいばあちゃんは、てんぷらを揚げるのが大好きで、いつもたくさん作りすぎてしまいます。ママにしかられたひいばあちゃんは、てんぷらを持ったまま家を出て行ってしまいました。亡くなったひいじいちゃんに食べてもらおうと、神社に行ったのです。

### 「 愛をみつけたうさぎ 」

ケイト・ディカミロ / 作 ポプラ社

エドワードは、陶器でつくられたうさぎの人形でした。持ち主の女の子に愛されますが、気位が高いエドワードはいつも自分のことだけを考えていました。

あるとき、事故で深い海の底へ沈んでしまったエドワードは、漁師に拾われます。それは、長くてつらい旅のはじまりでした。



## ちしきの本



### 「 のんびりオウムガイとせっかちアンモナイト 」(えほん)

三輪 一雄 / 作 偕成社

大昔、オウムガイとアンモナイトは海に生きる同じ仲間でした。長い年月の間に、アンモナイトは絶滅し、今は化石でしか見ることができません。しかし、オウムガイは今も、深い海の底で生き続けています。それぞれの、変化してきた秘密がわかるお話です。

### 「 バレーボール スポーツなんでも事典 」 ほるぷ出版

バレーボールの歴史やルール、ボールの誕生やユニフォームのことなど、バレーボールにかかわることをテーマ別にくわしく解説してあります。

また、バレーボール選手になる方法や選手の生活、悩み、苦勞などいろいろな疑問に答えています。



名作をよもう！

今月の1さつ



「グリックの冒険」 斎藤 惇夫 / 作 岩波書店

ペットのシマリス“グリック”は、伝書バトから北の森にすむリスたちの話を聞きました。外の世界にあこがれを抱いたグリックは、かごから脱出します。森へ行くためには、車やネコなどの危険が待っていました。ドブネズミの“ガンバ”と出会い、ネズミ同士の戦いを経て、雌リス“のんのん”といっしょに北の森を目指します。自由を求めて広い世界に飛び出し、夢をかなえたシマリスの物語です。

## 本ととしょかん まめちしき

その9 < ブックポストって知ってる? >



図書館が閉まっても本を返すことができるそれがブックポストです。図書館の玄関わきの壁に本を入れる“投かん口”があります。ブックポストに入れた本は、職員が毎朝取り出して返却の処理をします。ただし、ビデオ・カセットテープやCDはこわれやすいので、ポストには入れないでくださいね。



クイズのこたえ “タンタン”

白い犬の名前は“スノーウィ”です。

「黒い島のひみつ」「オトカル王の杖」

「燃える水の国」「レッド・ラッカムの宝」

「金のはさみのカニ」ほか

22巻まで出ています。読んでみてね。

(エルジェ / 作 福音館書店)



< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272

